

先輩教員を紹介します!

小中高校・特別支援学校で活躍する現役の先輩教員4名にインタビュー!
教職の魅力ややりがいを教えてもらいました。

インタビュー
動画はこちら



インタビュー-

大窪シゲキ

広島FMラジオDJ。
中高生を応援するラジオ番組
『大窪シゲキの9ジラジ』
に出演中。



熊野町立熊野第三小学校・3年目
蘆田菜月教諭



民間から教員に挑戦!「子供はみんな育てる」ことを実感

もともと教員を目指していましたが、人前に立つことの苦手意識もあり、民間企業に就職しました。その企業でも子供と関わる仕事をしていましたが、仕事を通じて話すことに自信が付き、もっと一人一人の子供に関わりたいという思いから教員採用試験を受けました。教員として印象に残っているのは、初任の頃に先輩の教員から「子供はみんな育てるものだよ」と声をかけてもらったことです。他のクラスの教員が自分のクラスの子供たちに積極的に声をかけてくれる姿を見て、「みんなで育てる」という言葉の意味を実感しました。

自分の軸を持った一貫性のある教員になりたい

仕事をする上で大切にしているのは「分からないことはすぐ聞く」こと。「ホウレンソウ(報告・連絡・相談)」を意識し、分からないことがあれば同僚や先輩に気軽に相談したり、他校に勤める同期にアドバイスをもらったりしています。来年からは担任を持つ予定なので、自分の軸をしっかり持ち一貫性のある教員になりたいです。また、部活動では「情報科学部」の顧問をしており、今年度から部員はeスポーツの大会にもチャレンジしています。出場した大会ではまだ思うような結果を残せていませんが、来年度は上位を目指して頑張ります。



川口敦司教諭
県立安芸府中等高等学校(情報)・1年目

府中市立第一中学校(国語)・1年目
淡居ちひろ教諭

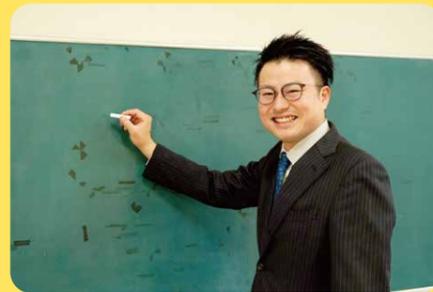


国語の面白さ、魅力を伝えられる授業がしたい

教員を目指したきっかけは、中学生の頃の国語の授業が面白かったことです。感想を語り合ったり、ポートフォリオやポスターで表現したりする授業が新鮮で、「私も国語の面白さを伝えたい!」と思うようになりました。大分県出身ですが、広島の大学に進学した際、広島の人たちの温かさに惹かれ、この地で教員になることを決めました。子供たちから「今日の授業、楽しかった」と言ってもらえるとやりがいを感じますし、文章を書くのが苦手な子が、指導を重ねるうちに書けるようになっていく姿を見ると「粘り強く教えて良かった」と嬉しくなります。

子供たちに積極的に声をかけ、成長を実感

職場では、素直な気持ちでいること、そして子供の成長に気付くことを大切にしています。日々の生活の中で、子供たちが障害による学習上、生活上の困難をどう克服し、どう向き合うのかと一緒に探しています。少し手が動かせるようになったり、休憩と授業のメリハリがつけられるようになったりする姿を見ると、「教員になって本当に良かったな」と心から嬉しくなります。また、子供たちにはおはようの掛け声やポジティブな言葉など、聞いて気持ちのよい言葉を積極的に伝えるよう日々トライしています。それだけで子供たちの表情が明るくなるんですね。



佐々木俊介教諭
県立広島特別支援学校・1年目



TRY!

～広島県だからできる学びがある～

広島で学んで良かったと思える
広島で学んでみたいと思われる
日本一の教育県の実現
広島県教育委員会



※表紙の写真は安芸太田町立筒賀小学校の皆さんにご協力いただきました。

教員を志望する方へ



TRY! 「学びの変革」の**深化**

探究的な学びの充実

広島県では、これからの社会を生きる児童生徒が、生涯にわたって学び続け、答えのない問いに立ち向かっていくために必要な「探究的に学ぶ力」を育成するために、プロジェクト型学習の考え方をういた授業改善に取り組んでいます。

リアルな地域の課題に挑戦！ 探究的な学びが地域を動かす

三原市立大和小学校

三原市立大和小学校では、地域の課題解決に向け、多様な人々と協働し、探究的な学びを進めています。豊かな自然が自慢の地域に「少子高齢化」「農業の担い手不足」という現状があることを知った子供たちは、「地域をもっと元気にしたい」と、特産物を生かした商品開発に取りかかります。

解決策を考えただけ、どうやったら実行できるかな…
自分たちにできることは何？ できないことは何？

課題解決に向け、協力者を探す子供たち。県立総合技術高等学校の食デザイン科の生徒に依頼し、商品のアイデアを評価してもらったり試作してもらったりしながら商品化し、販売することができました。

多様な人々と協働すると、もっとできることがあるはず！
大和の農作物を使った料理をもっとたくさんの人に食べてもらって、大和の魅力を知ってもらうためにはどうすればいいかな？

地域の課題を自分事として取り組む子供たちからの新たな問いにより、探究的な学びは続いていきます。

Teacher's Voice!

第5学年担任
行廣泰子先生



この探究的な学びでは、商品化することが目的ではなく、子供たちが「自分たちは大和の町をどうしていきたいか」と自分事として考え、課題解決に向けて探究する過程を大切にしました。また、地域の人や高校生、近隣の小学生など多様な人々と協働しながら取り組むことで、課題解決力だけではなく、コミュニケーション力も育まれたと思います。学習後、「大和の町を元気にできている!」と、子供たち自身がこの探究的な学びに価値を感じていることが嬉しかったです。



くわしくはこちら

商品のアイデアを高校生にプレゼン



あ! そうですね!
みじん切りにすると
もっとおいしく
なりますね。

ガーリックは
みじん切りにして
入れた方が風味が
よくなるよ。

試作品を試食し、商品化に向けて再検討



「大和のほうれん草」を
たくさんの人に
知ってもらえそう!

外はサクサク、
中はクリーミー。
とってもおいしい!

広島県は全国に先駆けて、全ての児童生徒の「主体的な学び」の実現に向けて、「学びの変革」にTRY!しています。「生きるって何?」「何のために学ぶ?」といった「本質的な問い」を軸に、子供たちの探究的な学びを大切に授業づくりに取り組んでいます。未来を担う子供たちを育てるために行っている、広島県の特徴的な教育活動を紹介します。

“探究とは何か”を問う 探究者となる学びに!

県立呉三津田高等学校

県立呉三津田高等学校の社会探究プロジェクト学習では、生徒はグループで協働しながら、探究の意義を考え、問いを立て、その問いに対する考えを深めています。第2学年では、フィールドワークや実験等を通して、地域住民、行政や企業、大学の関係者など、多様な人々と意見を交わしながら、「社会の一員として自分たちが問うべき問いは何か」を探究しています。生徒自らが学びを深め、更新していくリアルな探究が展開されています。

Teacher's Voice!

プロジェクトリーダー
川本啓正先生



この社会探究プロジェクト学習は、生徒の「問いたい問い」から「自分たちが問わなければならない問い」へと、問いに問いを重ねる中で思考を磨き、そのプロセスを言語化していくことを重視しています。探究に取り組む生徒にどのように関わっていくかは、教員にとっても「探究」です。生徒主体の探究にするため、具体的なアドバイスをあえて控え、生徒の思考を促す問いかけに徹するなど、試行錯誤の連続ですが、これが授業づくりの面白さでもあります。



くわしくはこちら

問いに問いを重ねる

問い
少子高齢化が進む地域を
どうすれば活性化できるか。



私たちの考える
「地域の活性化」とは?

問い
地域の活性化とはどういう状況?
誰にとっての活性化?



なぜ問うのか。
その問いが何につながるのか。

問い
高齢者向けの
移動販売車の販売範囲を
拡大できないだろうか。

特別支援学校の実践

県立特別支援学校では、幼児児童生徒の障害の状態や発達段階に応じたきめ細かな指導・支援に取り組んでいます。

「地域協働」 多様な人々と協働し 自立と社会参加を!

県立福山北特別支援学校



くわしくはこちら



チームの仲間から得たアドバイス
を生かし、見事ヒット!

県立福山北特別支援学校では、バラスポーツ協会や地域、保護者とともに、障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる「ユニバーサル野球」を行いました。ほとんどの生徒が初めての体験で、ルールもやり方もわからない中、周りの参加者にわからないことを尋ねたり、チームの仲間と試行錯誤したりしながら取り組み、ユニバーサル野球を存分に楽しむことができました。県立福山北特別支援学校では、このように多様な人々との協働を通して自己肯定感やコミュニケーション能力など、自立と社会参加に必要な力を身に付けています。

TRY! 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ～学びに選択肢と自己決定を!～

児童生徒一人一人の学習進度や能力、関心等に応じて、多様な学びの選択肢を提供することで、自己決定・自己調整する場や、子供同士で協働しながら課題に取り組む場を生み出し、児童生徒の主体的な学びを推進しています。

日々の学習において

三次市立和田小学校では、児童が体験等から感じた不思議や疑問を自分で解決できるように、一人一人の実態に合わせて、学習プリントや学習コーナーなど多様な選択肢を用意し、自己選択・自己決定できる学びの場を提供しています。解決したいことを自分のペースで学んだり、他者と協働したりする中で、「分かった」「できた」という経験を繰り返しながら、主体的に学ぶことができています。

三次市立和田小学校



学習コーナーでは、発展的な内容を扱うチャレンジコーナーを設けるなど、児童の興味・関心を引き付ける工夫をしています。

安心して生活・学習できる居場所

県内には、不登校等児童生徒が安心して生活・学習でき、さらには成長できる居場所としてスペシャルサポートルーム(S SR)を設置している学校があります。「多様な選択肢と自己決定の機会の提供」をキーワードに、児童生徒一人一人の状況やニーズに応じた支援を行っています。

安芸高田市立吉田中学校SSR



生徒一人一人の状況やニーズに応じて学習方法等が選択できます。

個別の学習と協働での学習の両立が可能となるようにレイアウトを工夫しています。

協力して教室の環境を整備しています。

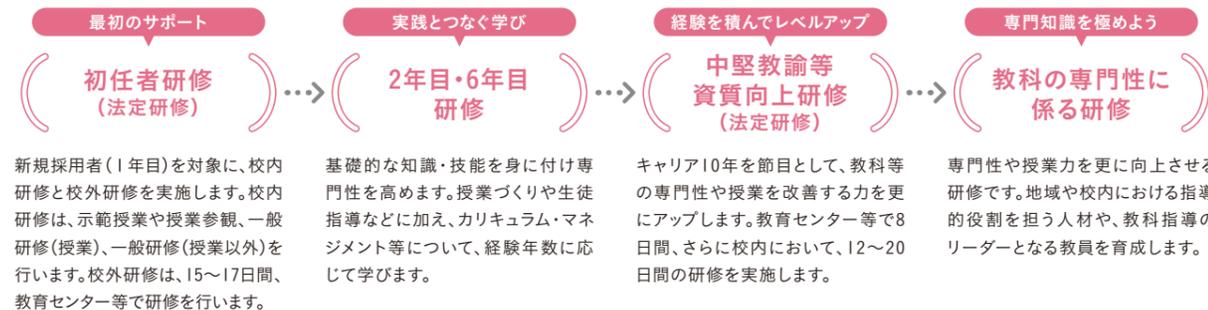
自分のペースで学習しています。

充実したキャリアサポート

広島県教員等資質向上指標に基づき、様々な研修を実施。同期や仲間と共に、夢や目標に向かって自身を高められる環境が用意されています。



初任者研修(校外研修)



困ったら相談しよう

個人サポート

日頃の教育活動(教科・領域等)で困っていること、悩んでいることについて、教育センター職員が多様な方法で解決に向けた支援をします。

知りたいことを学ぼう

教育センター専門講座(学びプラス)

教育センターでは様々な講座が開設されており、学校や教職員一人一人のニーズに応じて受講できます。未来を見据えた学びを探究し、校種の垣根を越えて、仲間と共に充実した時間を過ごせます。

教員の一日

イキイキと働く先輩教員の現場に密着!
一日の勤務の流れを知り
教員として働く姿をイメージしよう。

教員3年目! **小学校教員・蘆田先生のとある1日**

出勤 7:50
勤務開始 8:10～
朝の会 8:25～
授業開始 8:35～
休憩①
給食 12:10～
休憩②
掃除 13:00～
放課後 15:20～
校内研修 15:40～
退勤 17:30

一日の準備をしながら、教室で子供たちとおしゃべり。子供たちから元気ももらいます!

一番好きな授業は算数です。子供たちが「分かった」と言う瞬間が嬉しいです。学級の子供たち全員が分かる授業を目指しています。

音楽は専科の先生が授業をするので、その時間に授業準備や添削をしています。資料の印刷や教材準備などは、スクール・サポート・スタッフがサポートしてくれるので、大変助かっています。

外国語活動の時間はALTの先生と一緒に授業をします。授業の内容や役割分担などは、放課後に打合せをしています。

TRY!
やることリストを書き出し、締切日などを見える化!優先順位を考えながら仕事を進めています。教員3年目になりますが、初任の頃に学んだ「気になることは相談する」を意識し、多くの先生方から学ぶ心がけています。

「教室の片付け」「明日の準備」が毎日のルーティンです。

月1回、校内研修で授業づくりや生徒指導などについて学びます。自分の実践に生かす貴重な時間です。

オフの楽しみ方
Refresh!

学校全体で業務改善しようという教職員の雰囲気があります。「すいすい水曜日」は定時退勤日、先生同士で声をかけ合って早く帰っています。また、「休むときは休む」を心がけています。基本的に仕事は家に持って帰らず、オン・オフはしっかり切り替えるようにしています。休みの日には、ボーチャクッションをつくったり、好きな映画を観たり、ゆっくり過ごしています。

教員1年目! **高校教員・川口先生のとある1日**

出勤 8:00
勤務開始 8:20～
ホームルーム(担任と一緒に) 8:25～
授業開始 9:55～
休憩
昼食 12:45～
会議 13:30～
教材研究 14:30～
部活動 15:45～
退勤 18:00

ホームルーム前に、日常の出来事や教科の話など、生徒とおしゃべりしている時間が好きです。

今日は2時間目から!生徒参加型の授業を心がけ、生徒が自分の言葉で考えを表現することを大切にしています。

TRY!
教員1年目だからこそ、多くの先輩教員から学ぶ一年にしたいと思い、「積極的に人に聞くこと」を心がけています。また、「いつまでに何をするか」見直しをもって業務に取りかかっています。

先輩教員の考え方など、多くのことを学べる貴重な時間です。

授業づくりや生徒指導など、校内指導教員をはじめ多くの先生からアドバイスをいただきます。

情報科学部を担当しています。

横の繋がりが
Connection!

初任者研修では、学校で役立つことを学べるだけでなく、同じ教科(情報)の教員と交流することもできます。プログラミング指導について、教材やワークシートなどをオンラインで共有することもあり、仲間の実践がとても参考になっています。困ったことも共有できるものでありがたいです。もちろん、教科の話だけでなく、趣味の話も盛り上がりやすいです。

初任者研修では、学校で役立つことを学べるだけでなく、同じ教科(情報)の教員と交流することもできます。プログラミング指導について、教材やワークシートなどをオンラインで共有することもあり、仲間の実践がとても参考になっています。困ったことも共有できるものでありがたいです。もちろん、教科の話だけでなく、趣味の話も盛り上がりやすいです。

教員の働き方改革を推進

広島県では、教員が、心身ともに健康で、「働きやすさ」と「働きがい」を両立し、日々、子供たち一人一人と向き合うことができるように、教員の働き方改革を推進しています。また、仕事とプライベートが両立できるサポート体制の充実などにも取り組んでいます。

学校における働き方改革取組方針【県立学校】

目標・成果指標

- 子供と向き合う時間が確保されていると感じる教員(管理職を除く)の割合 80%以上
- 在校等時間から、正規の勤務時間を除いた時間を原則年360時間以内及び月45時間以内とする。

取組の柱

- 学校・教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備
- 部活動指導に係る教員の負担軽減
- 学校における組織マネジメントの確立
- 教職員の働き方に対する意識の醸成

「働き方改革」取組事例

ICT環境の整備など校務DXの推進

生徒に関する成績等の情報を一元管理する「校務支援システム」や、定期考査等の採点を効率的に行うための「採点支援システム」の運用等により、業務の効率化を進めています。

教員の業務をサポートする人材の配置

教員の事務的業務を補助する「スクール・サポート・スタッフ」や、中学校における部活動指導・大会引率等を担う「部活動指導員」の配置などを進め、業務負担の軽減を進めています。

県立学校一斉閉庁の実施

夏季及び冬季休業期間中に、県立学校全校で実施する「一斉閉庁日」を設定し、教職員が勤務する必要がないよう取り組み、教職員の心身の健康の増進を図っています。

業務の精選・見直し

各学校において、児童生徒に対する教育効果を十分に踏まえた上で、業務の精選・見直しを行い、学校全体が効率的・効果的に機能するよう取り組んでいます。

妊娠や出産・育児等、サポート体制も充実 休暇や休業制度を紹介

妊娠・出産・育児に関する休暇・休業(一部)

出産休暇	出産予定日8週間前から、出産日の後8週間まで(女性のみ)
育児休業	子が3歳に達するまで(給与支給なし)
育児休暇(育児時間)	1日2回、各45分
育児短時間勤務	週19時間25分～24時間35分の短時間勤務(勤務時間に応じて給与支給)
早出遅出勤務	1時間30分の範囲内で勤務時間を繰上げ・繰下げできる。
出生支援休暇	不妊治療を行うため、職員1人につき最大1年(給与支給なし)

※令和7年4月現在。上記以外の制度についてはHPをチェック。



くわしくは
こちら

コレが
知りたい!

教員採用 Q&A

教員採用に関する質問にお答え!
ぜひ参考にしてみてください。

Q 勤務条件を教えてください。

A 勤務時間は1週間当たり38時間45分です。週休日は土・日曜で、祝日や年末年始(12月29日～1月3日)は休日です。年次有給休暇は採用された年に原則15日、翌年以降は年間20日付与されます。また、年次有給休暇は時間単位で取得することが可能です。

くわしくは広島県教育資料
(第5章 教職員としての在り方
「学校における勤務」)をチェック



Q 福利厚生について教えてください。

A 採用されると、公立学校共済組合の組合員になります。病気やけがをして病院等で診察を受けたときの医療給付や休業をしたときの手当金、退職後の年金が支給される他、住宅等の各種貸付け等の福祉事業も受けることができます。また、公立学校共済組合の組合員になると、健康の保持増進、元気回復等を目的とした、人間ドックやメンタルヘルズ相談、健康づくりセミナーを利用することができます。

Q 年次有給休暇の他に、どのような制度がありますか?

A 特別休暇及び介護休暇などがあります。その他、若年層職員の健康保持及び元気回復のために職務専念義務を免除する「フレッシュアップ厚生計画」等、制度が充実しています。

Q 初めての教員生活が不安です。サポート体制について教えてください。

A 採用前に、名簿登載者同士がつながるトーク型オンラインイベント「広島県教員スタートミーティング」を実施しています。採用前の不安軽減につながり、参加者に大変好評です。採用後は、校内指導員、教科指導員などが、授業づくりや生徒指導についてサポートしていきます。また、日々の授業づくり等で教職員個々が感じている教科等の困っていること、悩んでいることについて、教育センター職員が電話やオンライン、学校訪問等で相談に応じ、解決に向けて支援を行う「個人サポート」もあります。

Q 給与はいくらですか?

A 給料月額や教職調整額に加え、地域手当や教員特別手当を含めた額が毎月の給与となります。また、給料月額は経歴などに応じて加算されることがあります。その他にも、期末勤勉手当(ボーナス)や通勤手当、住居手当などが条件に応じて支給されます。

令和7年4月 新卒者の場合

	給料の月額	地域手当	教員特別手当	月額合計	期末勤勉手当	年額見込	40歳になると… 年額見込
大学院修了	283,562	10,491	3,000	297,053	1,010,071	約457万円	約689万円
大学卒	265,480	9,822	2,600	277,902	945,662	約428万円	約681万円

(単位:円)

大学新卒後、教員の職務と直接関係のない企業で正社員として7年間働いた後、転職すると…
(正社員として勤務していた証明書がある場合)

月額合計	期末勤勉手当	年額見込
約32万円	約108万円	約492万円

※令和7年4月現在の給与制度を基に算出

※標準的な昇給をした場合